

東温市高齢者総合健康調査のアンケートを提出された東温市民のみなさまへ

【研究課題名】

東温市地域住民の健康寿命に関する疫学研究

【研究の対象】

この疫学研究は、2023年3月1日時点で東温市に住民票のある65歳以上の方を対象としています。

【研究の目的・方法について】

近年、高齢者の健康寿命の延伸（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を延ばすこと）が重要とされています。健康寿命は、健康診断や診療所や病院での検査所見だけで判定することはできません。高齢者ご自身の情緒のおよび手段的なサポート、家族形態、心の状態、社会的活動性など的高齢者の精神的・心理的・社会的側面と深く関連することが知られております。東温市高齢者総合健康調査のアンケート調査（健康や生活状況等に関する質問）と東温市での保健・福祉・医療事業等の指標を併せて用い、健康寿命及び日常生活活動に影響を及ぼす因子とその寄与割合を明らかにします。

【研究期間】

2023年3月1日～2027年3月31日

【研究に利用する情報について】

2023年度に配布した東温市高齢者総合健康調査の回答内容を疫学・公衆衛生学研究へ応用させていただきたいと思っております。なお、本研究は教育学部研究倫理委員会において厳正に審査・承認されております。また、アンケート回答者のみなさまの個人情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、回答者のみなさまのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【研究に利用する情報の保存等について】

アンケートの回答内容については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙媒体の情報はシュレッダーにて廃棄し、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究では共同研究者の所属しない外部の施設に対して、回答情報を提供することはありません。また、共同研究者については、回答者のみなさまの個人情報（氏名、住所、生年月日など）が特定されないように匿名化を施したデータセットとして提供し、共同で解析をいたします。

【アンケート回答者さまの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって回答者さまの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、介護用品などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、回答者さまにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である愛媛大学大学院教育学研究科心理発達臨床専攻の科学研究費や寄附金を用いて研究が行われます。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

東温市高齢者総合健康調査に回答を提供するかしないかは、みなさまの自由です。本研究に回答結果を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、回答者さまのアンケート回答内容は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、回答者さまの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。回答者さまのアンケート回答結果を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、研究代表者の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究代表者】

所属 愛媛大学大学院教育学研究科心理発達臨床専攻

職名・氏名 教授 加藤匡宏

住所 〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3

e-mail kato.tadahiro.mm@ehime-u.ac.jp